

東カリブ諸国機構（OECS）6か国月間情勢報告  
（アンティグア・バーブーダ、ドミニカ国、グレナダ、セントルシア、セント  
クリストファー・ネービス、セントビンセント及びグレナディーン諸島）  
（2024年12月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

12月の東カリブ諸国機構（OECS）6か国（注）の内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

（注：アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ国（ドミニカ）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネービス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

### 1 概況

- （グレナダ）英政府は、グレナダの地熱エネルギー開発事業への支援として1,000万ポンド（約1,244万米ドル）の資金提供を発表。
- （ドミニカ）カリブ開発銀行（CDB）はドミニカの地熱発電会社に対し、10メガワットの地熱発電所の建設資金として3,480万米ドルの融資を承認。
- （アンティグア）ブラウン首相は、アンティグアの一人当たりの所得は6万ドルを超え、高所得国の仲間入りを果たしたと発表。

### 2 内政

- （5日セントビンセント報道）シーザー農業・林業・漁業大臣は、複数の自然災害による国内農業セクターへの影響により、セントビンセントは25 by 25 target（2025年までに域外食糧輸入品を25%削減する目標）は達成できない見込みであると発表。
- （23日セントビンセント報道）セントビンセント警察は、国内に4～6つのギャンググループが確認されていると発表。

### 3 経済

- （5日カリコム発表）政府はカリコム気候変動センター（CCCCC）と共に、気候変動対策に関する国家の能力強化を目的とする300万米ドルの事業を開始。同事業は緑の気候基金（GCF）により資金提供される。
- （7日アンティグア報道）ブラウン首相は、2024年にアンティグアは農業部門により、前年比7%増である1.16億東カリブドル（約4,000万米ドル）の歳入を得たと発表。

- (7日アンティグア報道) ブラウン首相は2025年の予算案を国会に提出。2025年、投資による市民権プログラム(CIP)は2.229億東カリブドル以上の税外歳入に貢献すると見込まれている。
- (グレナダ報道) グレナダを訪問中のチャップマン英ラテンアメリカ・カリブ地域担当政務次官はミッチェル首相と会談し、同国の地熱エネルギー開発事業への支援として1,000万ポンド(約1,244万米ドル)の資金提供を発表。
- (14日アンティグア報道) アンティグアとドミニカ共和国は、アンティグアの航空会社LIAT20を用いた二国間航空サービス協定を批准。
- (14日アンティグア報道) アンティグアとキューバは二国間航空サービス協定を締結。
- (17日アンティグア報道) カリコム開発基金(CDF)は、アンティグアの農業経営強化を目的とする農機具の新規購入のため、80万東カリブドル(約30万米ドル)の資金を提供。
- (18日セントビンセント報道) 台湾は、セントビンセントの初等、中等、高等教育及び技術教育機関の学生を対象に約32万東カリブドル(約12万米ドル)の奨学金を贈呈。
- (18日セントビンセント報道) 台湾政府は、ハリケーン・ベリル被害の支援として1万袋の米を寄贈。
- (18日セントルシア政府発表) 2024年第3四半期の失業率は11.8%を記録し、歴史上初めて3四半期連続12%を下回る失業率となった。
- (20日、23日ドミニカ報道) カリブ開発銀行(CDB)はドミニカの地熱発電会社に対し、10メガワットの地熱発電所の建設資金として3,480万米ドルの融資を承認。
- (24日アンティグア報道) ブラウン首相は、アンティグアの一人当たりの所得は6万ドルを超え、高所得国の仲間入りを果たしたと発表。

#### 4 外交

- (20日グレナダ報道) グレナダは、国連の「国家管轄権外区域における海洋生物多様性の保全と持続可能な利用に関する条約(BBNJ)」に正式に署名。
- (30日セントビンセント報道) ゴンザルベス首相は、プーチン・ロシア大統領、ゼレンスキー・ウクライナ大統領、バイデン米国大統領及びグテーレス国連事務総長宛てに、ウクライナにおける紛争の平和的終結を要請する書簡を发出。